

# たくま便り

第3号

市民が主人公になるために、新しい市政を誕生させましょう！

2010年が始まりました。

自民党から民主党へと政権が代わり、4ヶ月がたちました。その間、普天間基地の名護市への移転について、さまざまな発言がなされましたが、まだ結論は出ていません。

そんな状況の中で今月行われる名護市長選挙は私たちの声を国政に届ける最大のチャンスです。

現名護市長はこれまで基地移転を容認して来ましたが、今日でも県外移設がベストとしながらも、はっきりと基地受け入れ拒否を表明せず、国のあいまいな態度を批判するばかりです。

しかし今は新政権に対して、私たちがはっきりとした意思表示をする時なのです。そして、いるものはいらぬもの、いらぬものはいらぬと国にはっきりものが言える新市長の誕生を時代が求めています。

市民の手に自治を取り戻し、市民本意の市政を実現するため、13年前の住民投票の時のように、一人一人が名護市民としてのベストな選択を示すことを強く望んでいます。

1月24日の投票で新しい市政を誕生させ、2010年を明るく迎えるようにしましょう。

新年明けましておめでと〜い〜ぞ〜います。

本年もよろしくお願ひします。

## 2010年はジュゴンの年！

2010年は国連が定めた「国際生物多様性年」です。これに伴い、日本の環境保護団体の提案の下、世界自然保護連合は国連に対して特にジュゴン保護の推進を求める勧告を出しています。さらに今年の10月には、国際条約である生物多様性条約の締結国会議(COP10)が名古屋で開かれます。つまり、2010年はジュゴンの棲む海を多くの人に知ってもらおう絶好のチャンスなのです。

絶滅危惧種に指定されているジュゴンを国として全力で守っていくこと、またそのための具体案として、名護市、地元住民と協力してジュゴンの保護区を作ることと日本政府が宣言するよう求めています。

琉球政府時代の切手



この切手の復活と新しいデザイン切手の両方を考えています。

2010年を国際ジュゴン年として盛り上げるために、日本で唯一ジュゴンが生息する沖縄県からジュゴンの記念切手を復活させたいと思っています。皆さんも賛同してください！

アメリカでも新たな動きがありました。

去年12月にハワイで開かれた海洋哺乳類委員会(MMC)に、ジュゴン訴訟の原告として招かれ、発言の機会を得ました。

MMCはジュゴンを含むイルカや鯨など海洋哺乳類の保護、保全に関する国内法・国際法が守られているかをチェックし、米政府や関係機関に勧告するなどの役割を担っています。

私たちはまず日本政府が行った環境アセスの数々の問題点を挙げ、このまま建設が進めばジュゴンのすみ環境は破壊されてしまう事を説明しました。

そして日本の行ってきた環境アセスをMMCが科学的に検証し、その上で、米国防省が日本政府と共同で正しい環境アセスを行う必要があると勧告してほしいと要請してきました。

MMCは私たちの要請に理解を示してくれました。彼らはすでに2001年にも国防省に環境アセスを行うことを勧告しているのので、ジュゴン訴訟の結果や今回の私たちの報告を受け、さらに強い態度で米政府に臨む事が期待できます。

アメリカで、この基地問題が広く知られれば環境保護を前面に出しているオバマ政権が耳を傾けないわけには行かないはずで、MMCの今後の動きに注目し、協力していきたいと思えます。



米海洋哺乳類委員会(MMC)での発言

アセスについての説明の後「ジュゴンは古来、沖縄の神話に登場し、神の使者として崇められてきました。私の故郷の海は、貴重なサンゴが広がり、ジュゴンの食べる海草が豊富にあり、まさに生物多様性に富んでいます。ジュゴンと海ガメがじゃれあうことのできる海は他に日本のどこにもありません。わたしはこの神聖な海を守ることが沖縄の尊厳を守ることであると思っています。」と述べ発言を締めくくりました。



ハワイ大学での発表

ハワイ大学の分校で基地問題についての講演を行いました。40名ほどが熱心に私たちの話を聴いて下さいました。会場からは手紙を書いたり、署名を集めたりするとの発言も出ました！

今回の訪問では特にハワイに住む沖縄人の3世・4世の方々に大変お世話になりました。遠く離れた沖縄の事を故郷として、そして彼らのアイデンティティーとして大事に思っていてくれることに胸を打たれました。



米下院議員ニール・アパークロンビー氏と

アパークロンビー米下院議員に会うことができました。議員は「私は沖縄の基地の状況について知っていますし、いかなる拡張についても反対です。沖縄にあれほど大きな基地が存在する理由はもはやありませんし、日本もアメリカも、沖縄の人々を二流市民として扱うのをやめなければなりません。」と話し、彼の所属する米軍事委員会(ワシントン)で私たちが発言できるように働きかけると言ってくれました。